

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2011・3



まちの人



■チームを代表して、左から高田さん、優勝時の主将・町田さん、本川さん（いずれも3年生）の3人にお話を伺いました。

札幌山の手高校 女子バスケットボール部

○札幌山の手高校

西区山の手2条8丁目

TEL 611-7301 FAX 641-3795

ホームページ <http://www.yamanote.ed.jp/>



■昨年12月28日、全国高校選抜優勝大会での優勝を決め、チームで記念撮影。

昨年、夏の全国高校総体、秋の国体、そして年末の全国高校選抜の全ての大会で優勝した山の手高校女子バスケットボール部。校舎は三冠を祝うポスターで飾られ、興奮冷めやらぬムードでいっぱいです。一年を通じ、圧倒的強さを見せつけたチームについて「学校の帰りも、みんな歩きながらするのはバスケの話。ほかのことにはまったく興味がないんです」と言い切るのは、高田汐織さん。部活を離れても仲が良く、とても明るいチームだそうです。そんなチームですが、9月の国体前、ボールへの執念が

伝統を大切に、自分たちらしいプレーを

薄れ、全体の雰囲気は暗く沈んだ時期があったそう。主将の町田瑠唯さんは「まず、自分の表情を明るくするよう心掛けました。そして皆で話し合っ、気持ちを立て直したんです」と振り返ります。チームを40年以上指導している上島正光コーチからは、プレースタイルを含めた山の手高校バスケット部の「伝統」を大切に、日頃から諭されているそう。また、生きていく上での教訓となる話も多いと言います。「単なる知識ではなく、自ら考えて得る知恵を持って行動しろ、という言葉が心に残っている」と話すのは本川紗奈生さん。この言葉は、山の手高校バスケット部のモットーにも通じます。それは、目まぐるしく状況が変わるコートの中で「自ら考え、判断して動く」ことです。卒業後は、実業団チームに進む3年生の3人。三冠達成後のプレッシャーを感じているであろう後輩に対し「勝敗にこだわるより、チームの伝統を大切にしつつ、自分たちの色をどんどん出してほしい」と口をそろえ、これから作られる新たなチームへの思いを語ってくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係（上欄）へ。